



池松自然農園通信 NO.10 2015年1月

遅くなりましたが、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

《アンケートお礼》

前回の農園通信でジャガイモ・玉ねぎに関してお聞きして、多くのお客様から回答を頂きました。ありがとうございます。回答結果の多くは、玉ねぎが毎回でも入っていて良い。ジャガイモは毎回でなくてよいとのことでした。玉ねぎがなるべく長い時期お届けできるように頑張ります。ちなみに、去年の2倍ぐらい作付しました。あと私にできるのは、4月ぐらいに草取りをすることと、無事成長してくれることを祈るだけです。

《卵の旬》

うちの鶏が卵を産み出して、1年ちょっと経過しました。初めて1年を通じて採卵養鶏を行って、気づいたことがあります。『卵にも旬がある。』ということです。まず、1日当たりの産卵数が季節によって違います。初春（まさに今）が一番多く、夏場は少なくなります。卵の質も夏場は産卵直後のものでも白身がダラーっとして生臭いですが、寒い時期はいつまでも白身がぷりっとしてすこぶる美味しいです。二十四節気の「小寒」「大寒」の卵は寒卵と呼ばれ、滋養が富むと言われていますが、実際食べていてこの時期の卵は美味しいです。最近の子供たちが毎日のように卵かけご飯を食べたがります。

卵は価格の優等生などといわれ、スーパーでは年がら年中10個パックが100円～200円で売られていると思います。そのような卵を産む鶏とうちの鶏はかなり育つ環境が違います。狭いカゴの中ではなく平飼いで、オンドリも一緒に暮らす有精卵で、ご飯はサプリメントみたいな配合飼料ではなく地域でとれる無農薬米主体の粗飼料で、光は人工灯ではなく太陽だけです。そんな育ち方だから旬があるのかもしれませんが、『卵にも旬がある。』ことがわかって、なんともしれん嬉しさがこみ上げてきま

した。第二陣の鶏も卵を産み出したので、新規の卵の注文も受け付けていますので、宜しくお願い致します。10個パック500円、6個パック300円です。（手間と餌代を考えると正直この値段では、自分の時給は300円くらいなのですが…）

《端境期》

今年は昨年より早く冬野菜が無くなってきてしまいました。秋冬の気温が昨年と比べてだいぶ低く、遅まきの野菜がなかなか育ちませんでした。ここら辺がまだまだ経験が足りないところです。食糧を供給する側として、端境期を如何に短くするかは重要な課題とされているのですが、なかなか難しいです。というわけで、昨年より1ヶ月近く早い2月から野菜の宅配をお休みさせて頂くこととなります。昨年同様、卵と採れる野菜だけでも良いと仰って頂けるお客様にはお届けします。（卵はこの時期が一番美味しいです。）別途ご連絡いたします。

宅配を早目にお休みする理由は、野菜が無いことだけでなく、第3子の出産予定日が3月1日なので妻に仕事を頼めないのと、おかげさまでお客様が増えたので野菜の収穫出荷作業に多くの時間を費やして、他の農作業に手が回っていないこともあります。特に、今からは夏野菜の苗作りも始まるし、冬の間は鶏舎の修理等もしないといけません。

小規模家族農業の労働力は限られています。その中でいかにして農業を継続できるだけの所得があがるようにするか、作目や販売方法など今年も楽しみながら試行錯誤を続けていきます。

ご理解の程、宜しくお願い致します。

以上

2月3月は第三子出産の為、宅配便・配達共に急な休みをもらうことがあります。ご迷惑をお掛けしますが、宜しくお願い致します。